

こいこいバス利用実態把握アンケート調査結果

1 調査実施概要

(1) アンケート回収枚数

○ アンケート調査票の配付枚数 546 枚、回収枚数 224 枚で、回収率は 41.0%。前回（H24）の回収率と比べると、約 9 ポイント低い。

配付日	配付枚数	回収枚数	回収率
7月5日(日)	130	224	41.0%
7月6日(月)	160		
7月7日(火)	163		
7月8日(水)～11日(土)	93		
合計	546	224	41.0%

【参考】前回（H24）調査（2日間）
配付枚数：296 枚
回収枚数：147 枚
回収率：49.7%

※ アンケート調査票は、7月5～7日は調査員がこいこいバスに乘車して手渡しで配付し、8～11日はバス車内に留め置きして利用者にとっていただいた。その他、詳しい調査概要は、P18を参照のこと。

※ 前回は、平成24年10月16日(火)、19日(金)の2日間、調査員がこいこいバスに乘車してアンケート調査票を手渡した。

※ 回収枚数(場所)の内訳は、バス車内：207枚(うち大竹交通：97枚、大竹タクシー：110枚)、市役所：3枚、大竹支所：8枚、玖波支所：5枚、木野支所：0枚、栗谷支所：1枚。

(2) 調査日のバス利用状況

① 日別利用状況

○ 調査期間中（1週間）の利用者数は1,933人で、前年度の同時期（H26実績）と比べると、曜日によって増減はあるものの、1週間の合計では64人増加している。

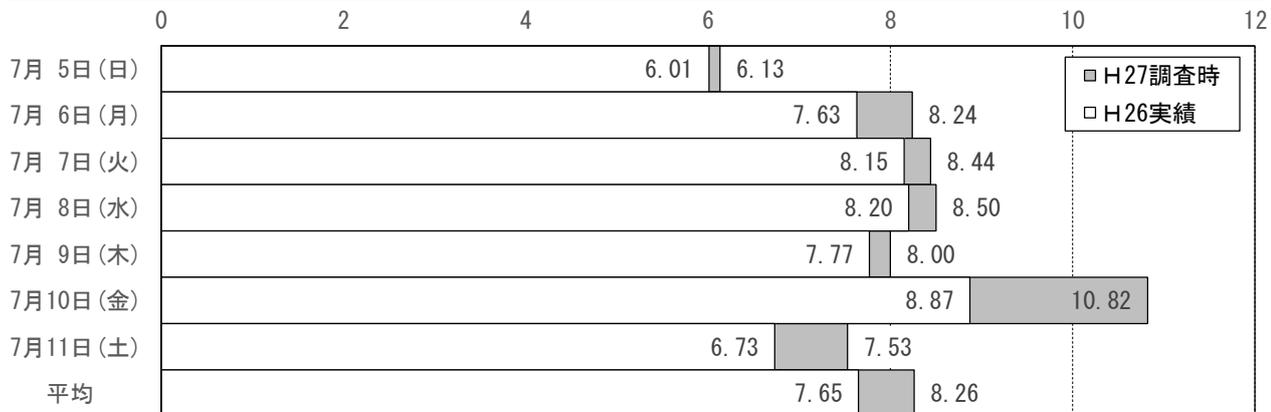
○ 調査期間中の1日の平均利用者数は276.1人で、「H26実績」と比べると、9.1人増加している。

配付日	利用者数		
	H27 調査時	H26 実績	
7月5日(日)	196	193	7月6日(日)
7月6日(月)	280	293	7月7日(月)
7月7日(火)	287	302	7月8日(火)
7月8日(水)	289	262	7月9日(水)
7月9日(木)	272	212	7月10日(木)
7月10日(金)	368	338	7月11日(金)
7月11日(土)	241	269	7月12日(土)
合計	1,933	1,869	
1日平均	276.1	267.0	

※ 「利用者数」は、「H27 調査時」「H26 実績」とも運行事業者からの実績報告の数値。

② 曜日別利用状況（1便あたりの利用者数）

- 金曜日の利用者が最も多く、水曜日、火曜日と続いており、「H26実績（年間の実績）」と同じ傾向である。
- 「H26実績」と比べると、すべての曜日において「H27調査時」の方が利用者が多く、平均の1便あたりの利用者数も約0.6人多い。

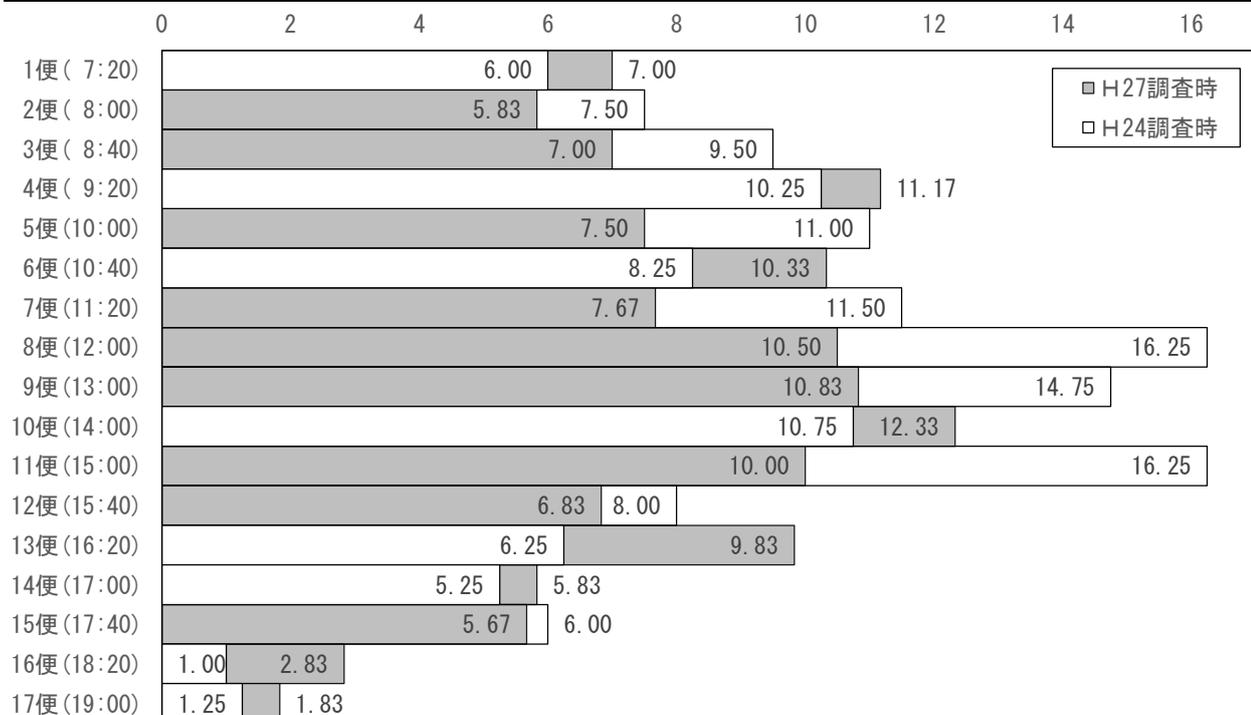


※ 「H27調査時」「H26実績」とも運行事業者からの実績報告の数値。なお、「H26実績」では、祝日は該当する曜日に計上。

③ 便別利用状況

《全体》

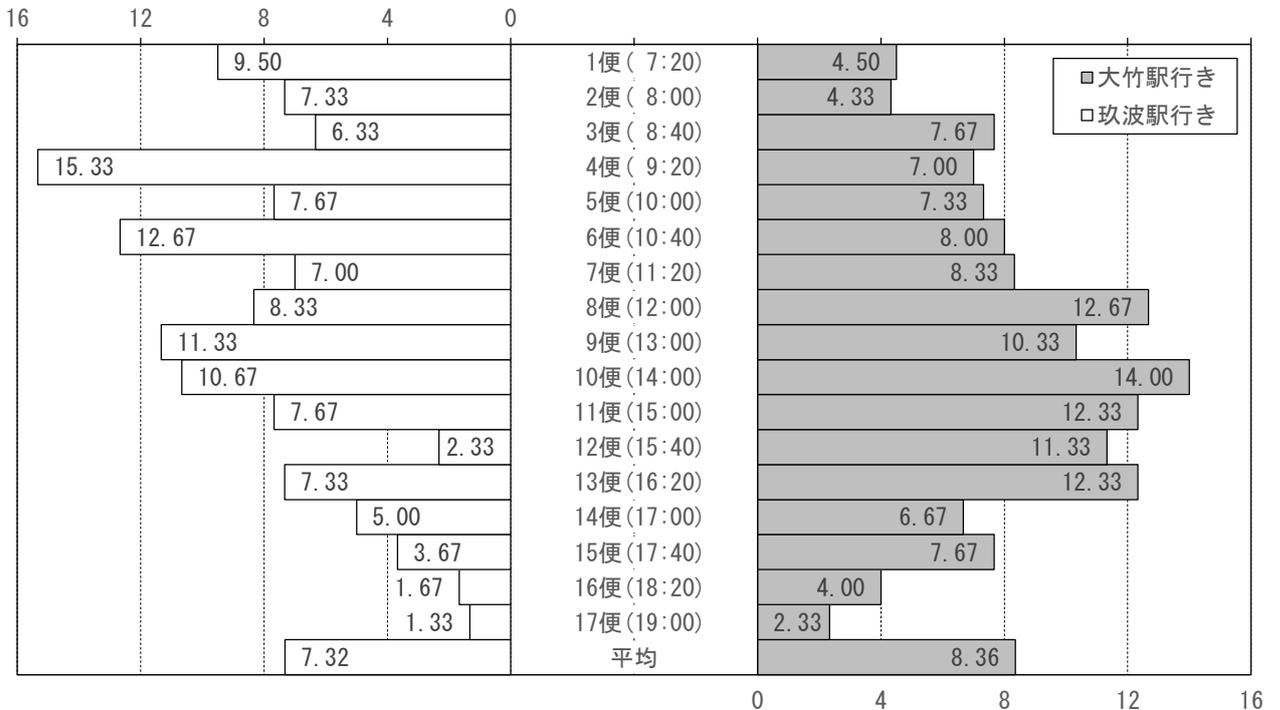
- 平成24年度は、最も利用者が多い金曜日と次に多い火曜日に乗降調査をしたので利用者が多かったが、今回は一週間の中で最も利用者が少ない日曜日を含んだ3日間で乗降調査をしたため、17便中9便で「H24調査時」の方が利用者が多い。
- 今回の調査期間中では、第10便の利用者が最も多く、第4便、第9便と続いている。
- 他の便と比べて第16便、第17便の利用者が極端に少ない。



- ※ 「H27調査時」は、平成27年7月5日(日)、6日(月)、7日(火)に実施した調査における1日(便)あたりの利用者数(3日間の平均)。
- ※ 「H24調査時」は、前回調査した平成24年度の便別1日(便)あたりの利用者数(2日間の平均)。
- ※ 「H27調査時」「H24調査時」とも調査員による調査の数値。

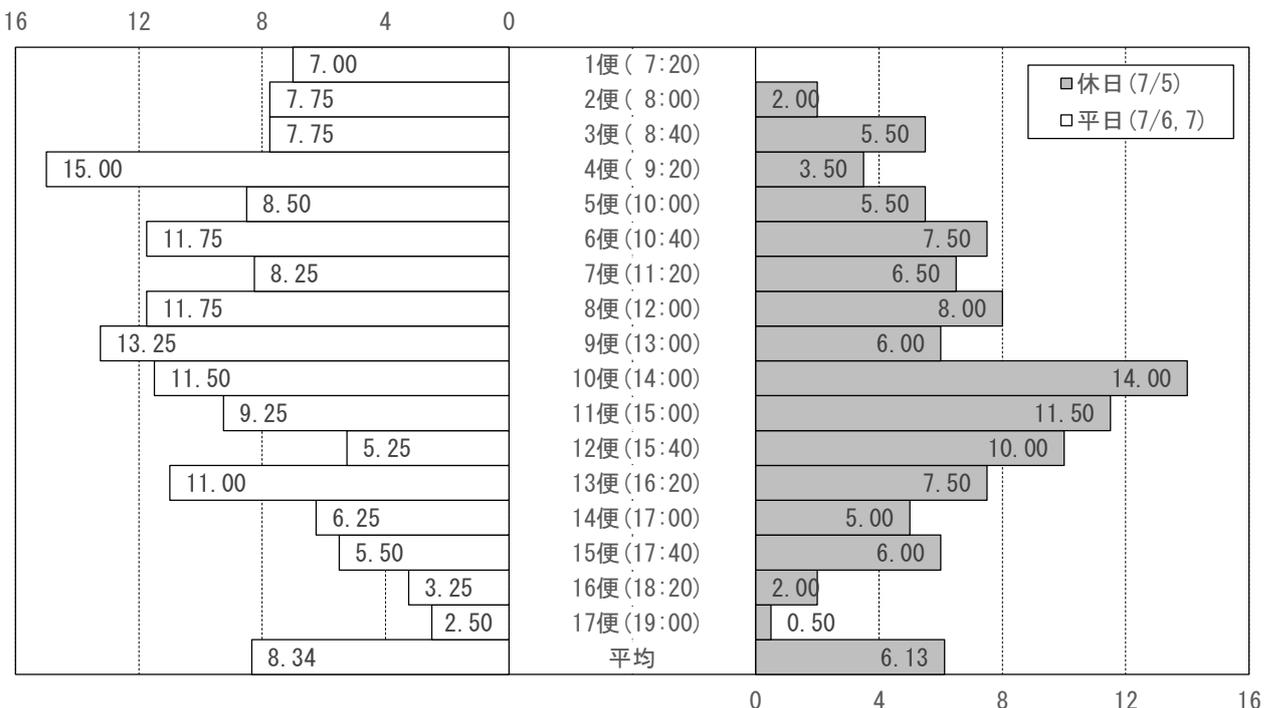
《行き先別》

- 玖波駅行きは、第4便が最も利用者が多く、第6便、第9便と続いている。第4便でピークを迎え、その後は減少する傾向にある。第16便、第17便を除くと、第12便が極端に利用者が少ない。
- 大竹駅行きは、第10便が最も利用者が多く、第8便、第11便、第13便と続いている。第8便から第13便まで1日（便）あたりの利用者が10人を超えており、長時間ピークを保っている。
- 玖波駅行きと比べると、大竹駅行きの方が1便あたりの利用者が約1人多い。



《平日と休日》

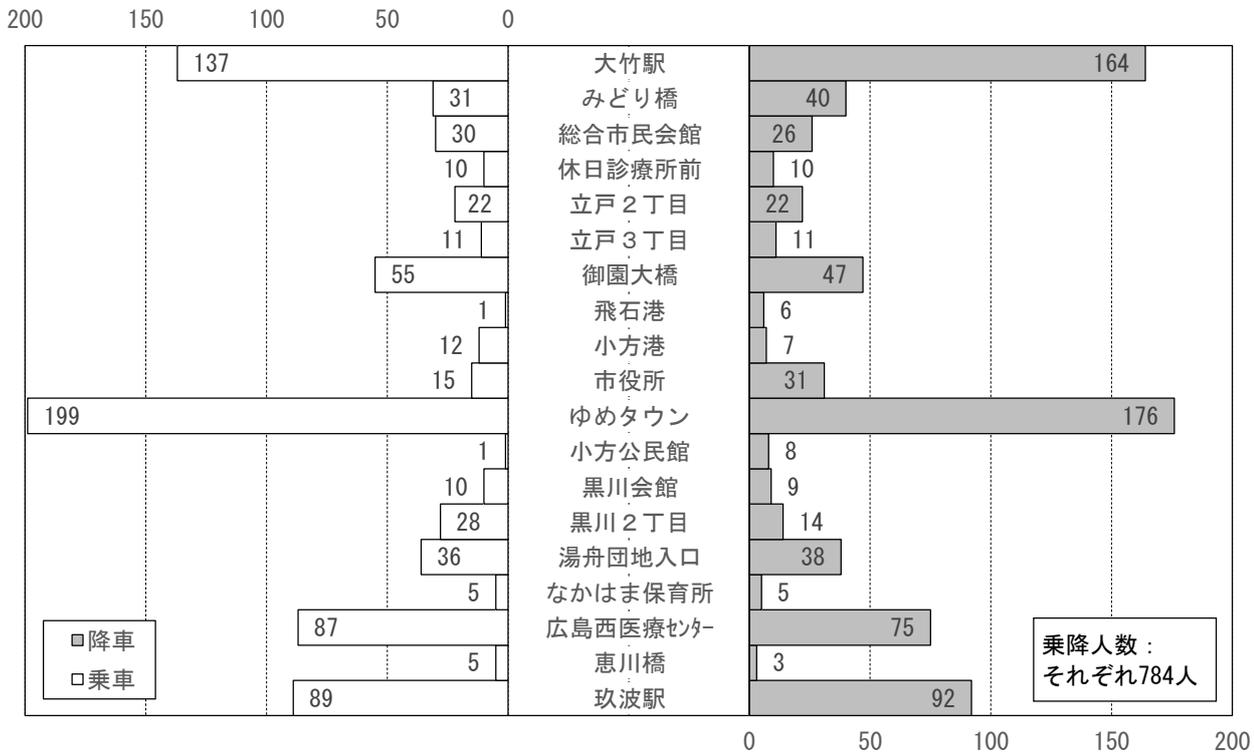
- 午前中（第1～8便）は圧倒的に平日の利用者の方が多い、午後（第9便～17便）は約半分（第10、11、12、15便の4便）の便で休日の利用者の方が多い。
- 午前・午後の利用者の割合は、平日は約53:47、休日は約38:62で、平日はほぼ半々なのに対して、休日は午後の利用者の方が多い。
- 休日（7/5）と比べると、平日（7/6、7）の方が1便あたりの利用者が約2人多い。



④ バス停別利用状況

《全体》

○ 調査期間中（7/5～7），玖波駅行き・大竹駅行きを合わせて乗車人数，降車人数とも最も多いバス停は「ゆめタウン」で，「大竹駅」「玖波駅」「広島西医療センター」「御園大橋」と続いている。



※ 棒グラフの数値は，平成27年7月5日(日)，6日(月)，7日(火)に実施した乗降調査における3日間の乗降客数の合計値。

※ 「(2) 調査日のバス利用状況」「① 日別利用状況」の表の7月5日～7日の「利用者数」の合計(763人)と上記グラフの人数の合計は異なる。乗降調査の人数には，小学生未満の利用者が含まれているものと考えられる。

【参考】

乗車人数ランキング

順位	バス停	人数
1	ゆめタウン	199
2	大竹駅	137
3	玖波駅	89
4	広島西医療センター	87
5	御園大橋	55
6	湯舟団地入口	36
7	みどり橋	31
8	総合市民会館	30
9	黒川2丁目	28
10	立戸2丁目	22
11	市役所	15
12	小方港	12
13	立戸3丁目	11
14	休日診療所前	10
14	黒川会館	10
16	なかはま保育所	5
16	恵川橋	5
18	飛石港	1
18	小方公民館	1

降車人数ランキング

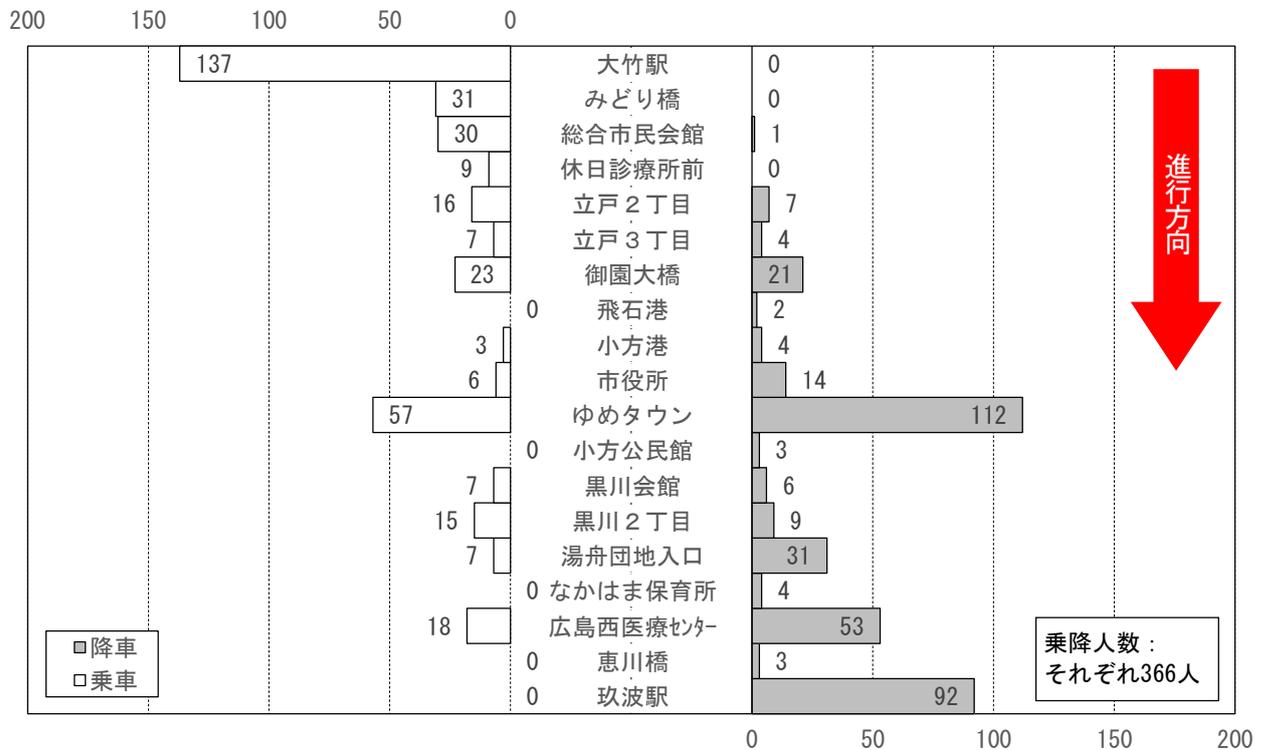
順位	バス停	人数
1	ゆめタウン	176
2	大竹駅	164
3	玖波駅	92
4	広島西医療センター	75
5	御園大橋	47
6	みどり橋	40
7	湯舟団地入口	38
8	市役所	31
9	総合市民会館	26
10	立戸2丁目	22
11	黒川2丁目	14
12	立戸3丁目	11
13	休日診療所前	10
14	黒川会館	9
15	小方公民館	8
16	小方港	7
17	飛石港	6
18	なかはま保育所	5
19	恵川橋	3

乗降人数ランキング

順位	バス停	人数
1	ゆめタウン	375
2	大竹駅	301
3	玖波駅	181
4	広島西医療センター	162
5	御園大橋	102
6	湯舟団地入口	74
7	みどり橋	71
8	総合市民会館	56
9	市役所	46
10	立戸2丁目	44
11	黒川2丁目	42
12	立戸3丁目	22
13	休日診療所前	20
14	小方港	19
14	黒川会館	19
16	なかはま保育所	10
17	小方公民館	9
18	恵川橋	8
19	飛石港	7

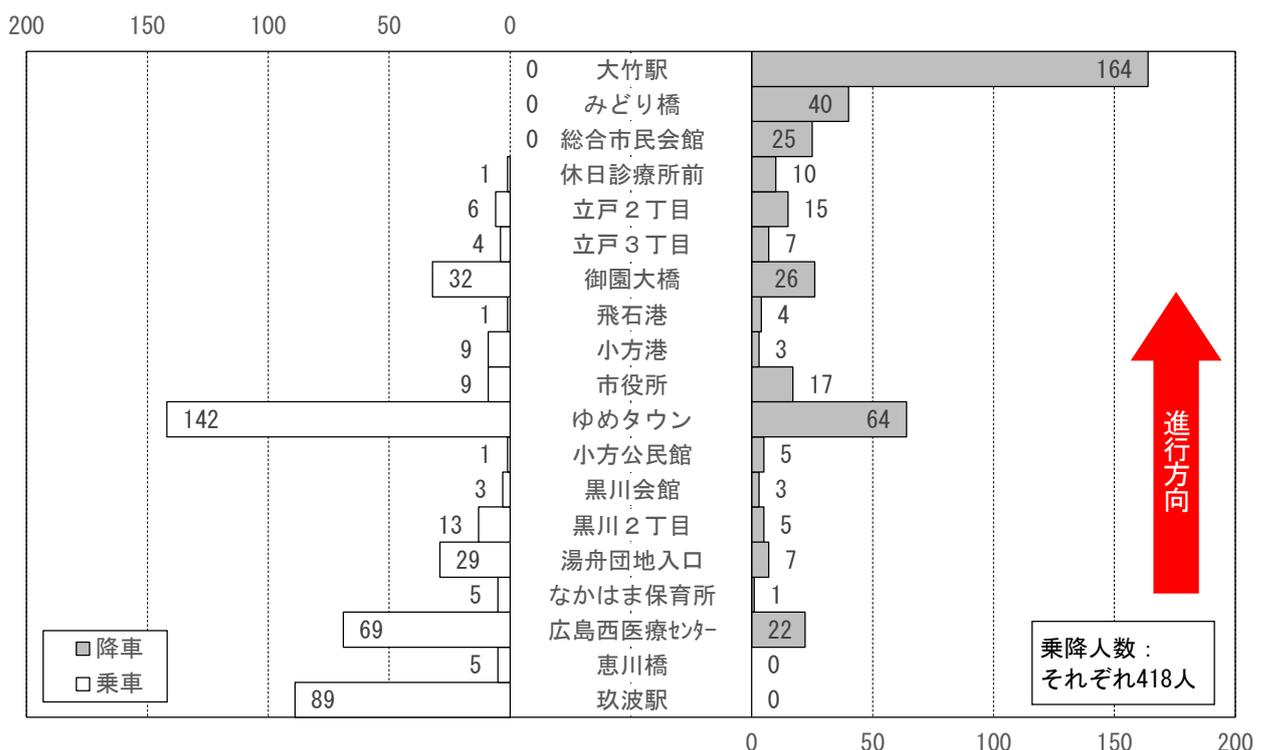
《玖波駅行き》

- 乗車人数が最も多いバス停は「大竹駅（137人、37%）」で、「ゆめタウン（57人、16%）」「みどり橋（31人、8%）」と続いている。
- 降車人数が最も多いバス停は「ゆめタウン（112人、31%）」で、「玖波駅（92人、25%）」「広島西医療センター（53人、14%）」と続いている。



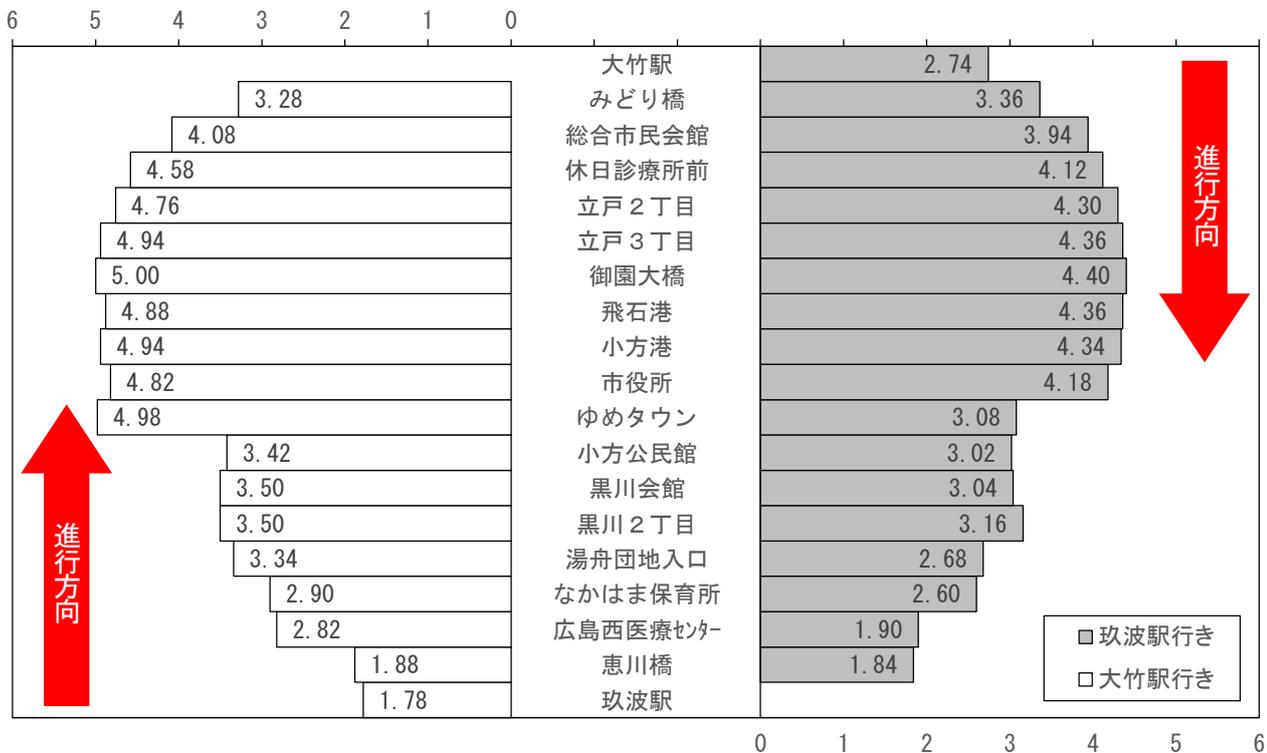
《大竹駅行き》

- 乗車人数が最も多いバス停は「ゆめタウン（142人、34%）」で、「玖波駅（89人、21%）」「広島西医療センター（69人、17%）」と続いている。
- 降車人数が最も多いバス停は「大竹駅（164人、39%）」で、「ゆめタウン（64人、15%）」「みどり橋（40人、10%）」と続いている。



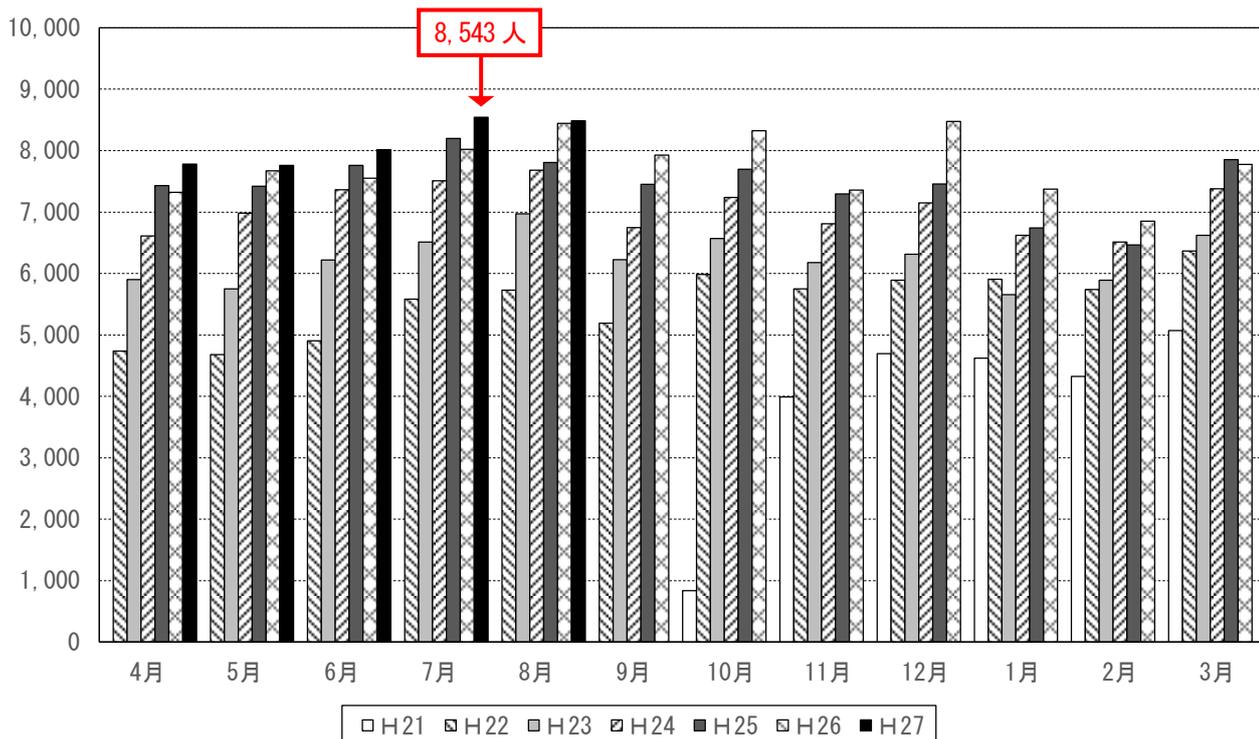
⑤ 行き先別1便あたりの区間別平均乗車人数

- 大竹駅行きは、「ゆめタウン」から「大竹駅」までの乗車人数が多く、玖波駅行きは、「大竹駅」から「ゆめタウン」までの乗車人数が多い。
- 玖波駅行き、大竹駅行きとも「御園大橋」で最も乗車人数が多くなっている。



【参考：月間利用者数（H21.10～H27.7）】

- アンケート調査を実施した平成27年7月の月間利用者数が8,543人（8.25人/便）で、過去最高を記録した平成26年12月の8,476人（8.18人/便）を更新した。



2 アンケート調査結果

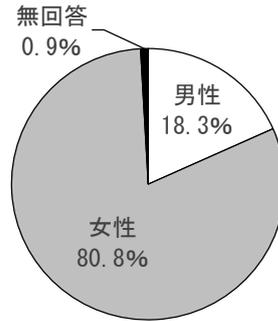
アンケートの集計結果は、「不明・無回答」を含めて記載する。アンケート調査票はP19以降を参照のこと。

質問1 利用者の属性

① 性別

○ 「女性」が約81%（181人）、「男性」が約18%（41人）程度となっており、圧倒的に女性の利用者が多い。

選択肢	回答数
男性	41
女性	181
無回答	2
合計	224



② 年齢

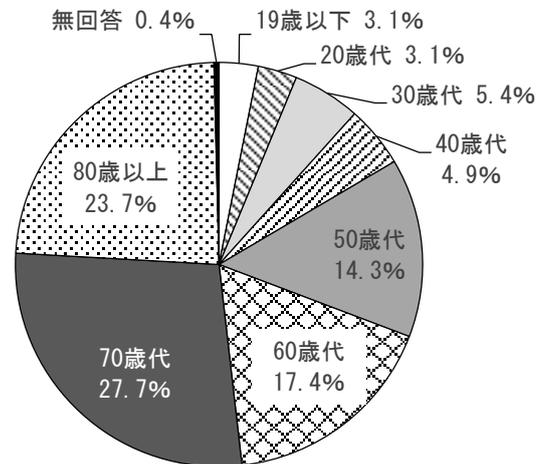
○ 「70歳代」が最も多く、「80歳以上」「60歳代」と続いており、60歳以上が約7割（68.8%）、70歳以上が約5割（51.3%）を占めている。

○ 「40歳代」以下の利用者も一定数おり、幅広い年齢層で利用されている。

○ 年代別に男女の割合を見ると、各年代で女性の方が高い。

○ 男性の割合は、「50歳代」以下は全体の平均（約18%）より高いが、「60歳代」以上は低くなっている。

選択肢	回答数	男性	女性	無回答
19歳以下	7	2	5	0
20歳代	7	2	5	0
30歳代	12	4	8	0
40歳代	11	3	8	0
50歳代	32	6	26	0
60歳代	39	6	32	1
70歳代	62	9	52	1
80歳以上	53	8	45	0
無回答	1	1	0	0
合計	224	41	181	2

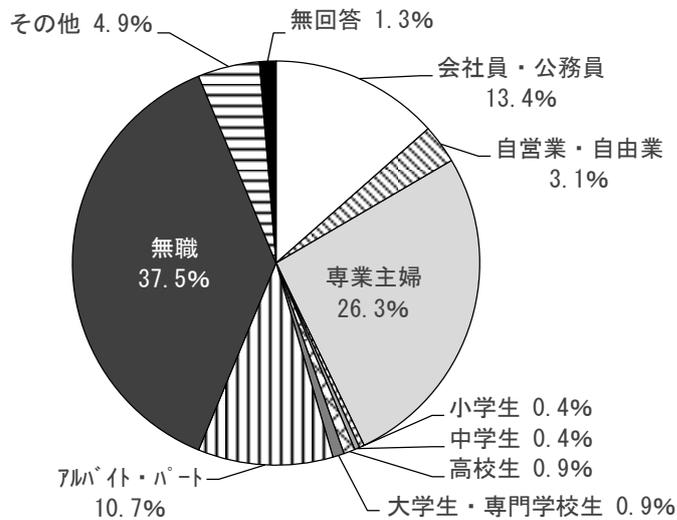


凡例	男性	女性	無回答
19歳以下	28.6%	71.4%	
20歳代	28.6%	71.4%	
30歳代	33.3%	66.7%	
40歳代	27.3%	72.7%	
50歳代	18.8%	81.3%	
60歳代	15.4%	82.1%	2.6%
70歳代	14.5%	83.9%	1.6%
80歳以上	15.1%	84.9%	
無回答		100.0%	

③ 職業

○ 「無職」が最も多く、「専業主婦」「会社員・公務員」と続いている。

選択肢	回答数
会社員・公務員	30
自営業・自由業	7
専業主婦	59
小学生	1
中学生	1
高校生	2
大学生・専門学校生	2
アルバイト・パート	24
無職	84
その他	11
無回答	3
合計	224



※ その他の内容：シルバー人材センター (3)、農業 (1)、ヘルパー (1)、住職 (1)、職業訓練生 (1)、就労継続A型事業所 (1)

④ 住所

- 大竹市に住んでいる方の利用が約9割と圧倒的に多いが、市外の方の利用も1割程度ある。
- 大竹市内に住まれている方の住所を見ると、黒川 (21.6%) が圧倒的に多く、「立戸 (8.5%)」「玖波 (8.5%)」と続いている。
- 大竹市内に住まれている方のうち、運行ルート沿線地区 (運行ルートの両側 200m幅の中に区域の一部が含まれる地区) に住まれている方が76.4%と多く、沿線地区外に住まれている方は23.6%となっている。
- 運行ルート沿線地区内の全地区で利用されているのに対し、沿線地区外の木野や川手地区 (防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷)、松ヶ原町に住まれている方は利用されていない。

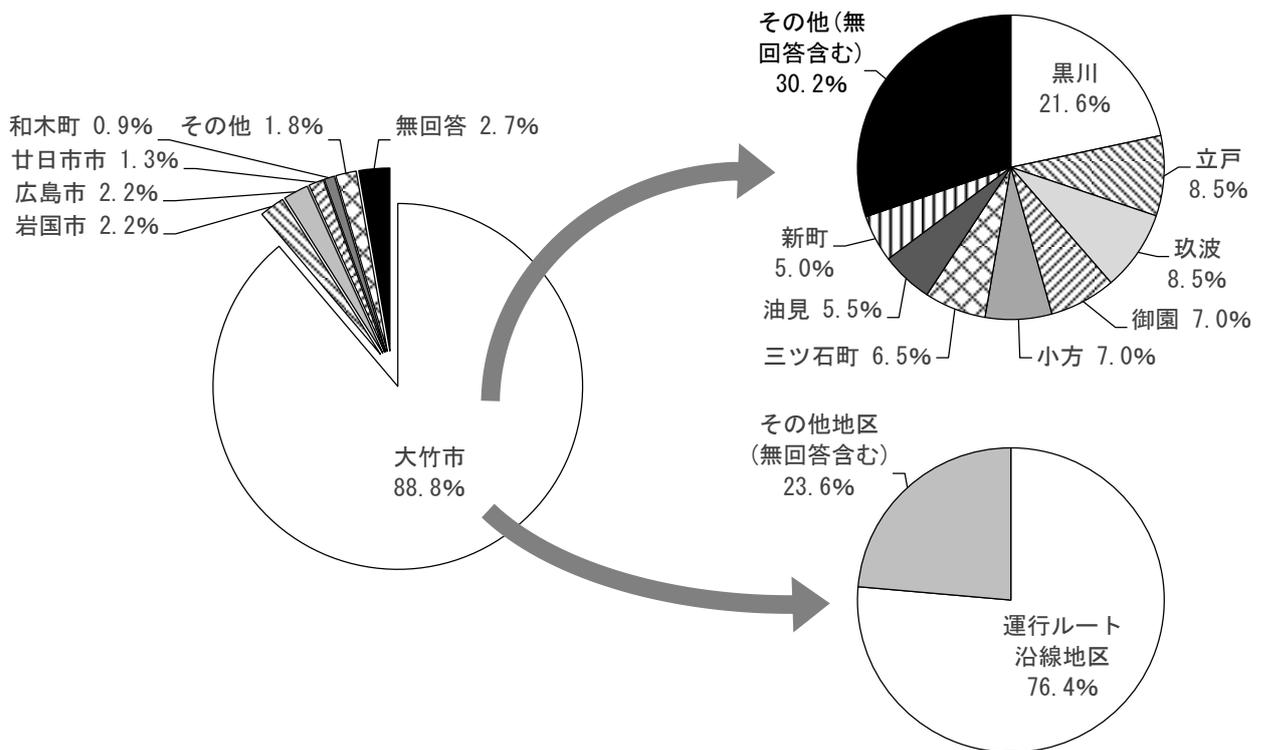
回答	回答数
大竹市	199
岩国市	5
広島市	5
廿日市市	3
和木町	2
その他	4
無回答	6
合計	224

黒川	43	白石	9	小方ヶ丘	3
立戸	17	南栄	7	阿多田	3
玖波	17	湯舟	7	晴海	3
御園	14	西栄	6	御園台	2
小方	14	元町	5	栗谷町	2
三ツ石町	13	港町	5	東栄	1
油見	11	本町	3	無回答	1
新町	10	北栄	3	合計	199

運行ルート沿線地区	152
その他地区 (無回答含む)	47
合計	199

※ その他の内容：市外 (2)、横浜市 (1)、鎌倉市 (1)

※ 運行ルート沿線地区：新町、油見、西栄、北栄、立戸、御園、御園台、小方、晴海、港町、黒川、湯舟、玖波

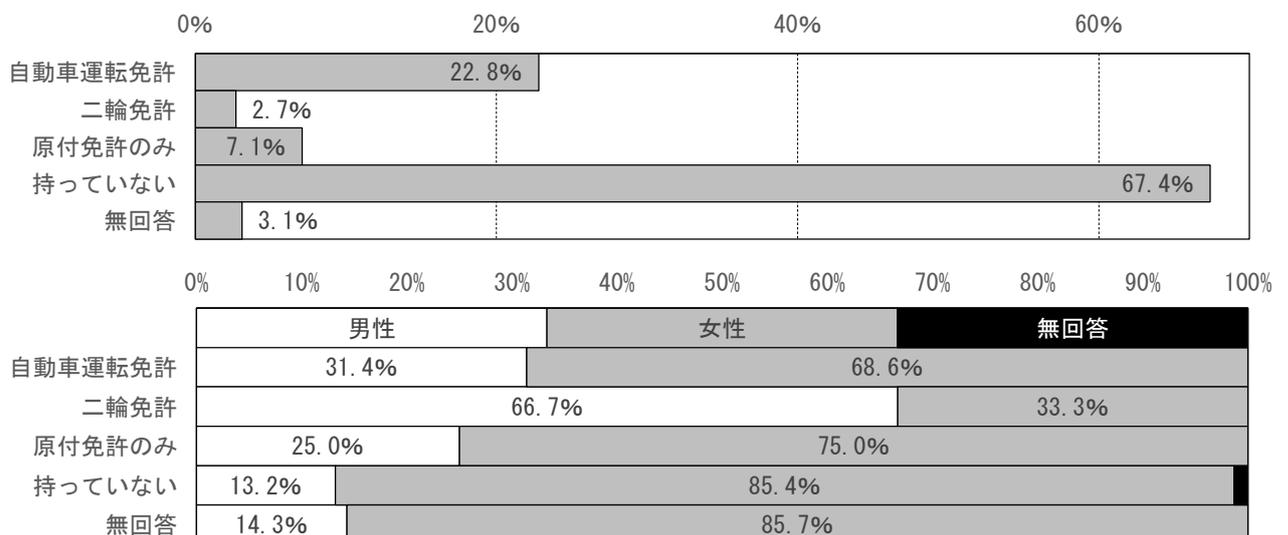


⑤ 運転免許の保有状況

- 運転免許を「持っていない」人が約68%で最も多い一方で、「自動車運転免許」を持っている人も約23%いる。
- 利用者は女性が圧倒的に多いため、免許の保有状況も「二輪免許」を除いて女性が多い。

選択肢	回答数	男性	女性	無回答
自動車運転免許	51	16	35	0
二輪免許	6	4	2	0
原付免許のみ	16	4	12	0
持っていない	151	20	129	2
無回答	7	1	6	0
合計	231	45	184	2

※ アンケートには特に明記していなかったが、複数に○をしている人がいたため、「複数可」として集計した。

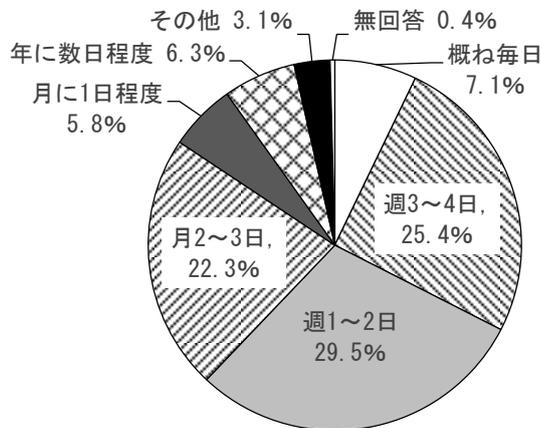


質問2 普段のこいこいバスの利用について

① 利用頻度

- 「週1～2日」が最も多く、「週3～4日」「月2～3日」と続いている。
 ○ 日常的に利用している人（「概ね毎日」「週3～4日」「週1～2日」「月2～3日」の合計）が約84%（189人）を占めており、週1日以上利用されている人も約62%（139人）いる。

選択肢	回答数
概ね毎日	16
週3～4日	57
週1～2日	66
月2～3日	50
月に1日程度	13
年に数日程度	14
その他	7
無回答	1
合計	224

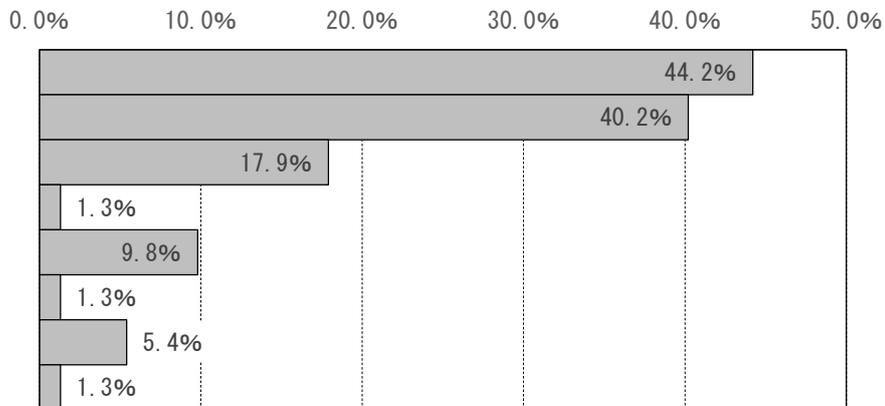


※ その他の内容：初めて（1）、必要な時（1）、雨の日（2）、時々（1）、不定期（1）

② 利用目的

- 「買い物」が44.2%で最も多く、「通院（40.2%）」「通勤（17.9%）」と続いている。 「買い物」と「通院」で約84%を占めている。

選択肢	回答数
買い物	99
通院	90
通勤	40
通学	3
趣味・娯楽	22
業務	3
その他	12
無回答	3
合計	272



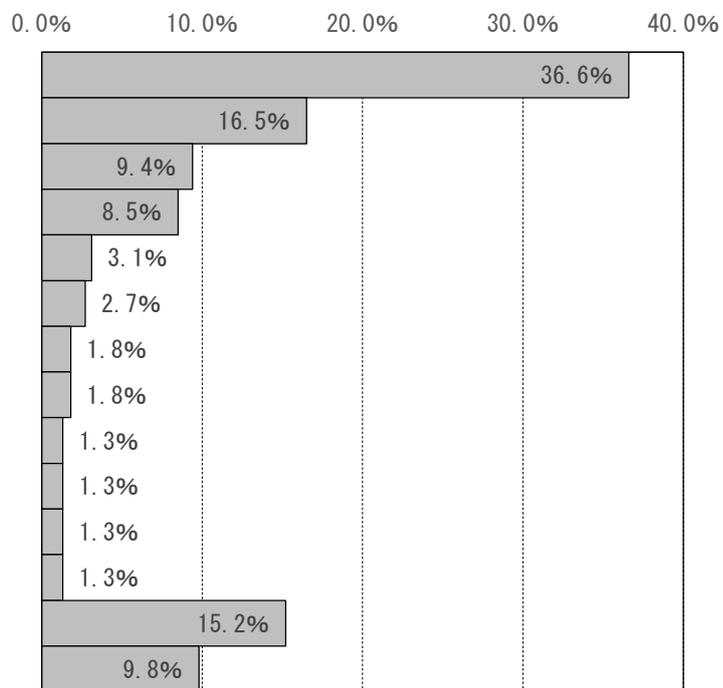
※ その他の内容：飲み会時の駅までの移動手段（1）、見舞い（3）、市外へ出かけるとき（1）、面会（1）、病院（1）、付添い（1）、旅行（2）、無回答（2）

※ アンケートは「1つに○」で実施したが複数に○をしている人が多いため、「複数も可」として集計した。

③ 主な行き先（目的地）

○ 「ゆめタウン」が最も多く、「広島西医療センター」「病院」と続いている。
 ○ 「ゆめタウン」や「広島西医療センター」等が勤務先等という場合もあるため一概にはいえないが、買い物目的の行き先が92（41.1%）、通院目的の行き先が83（37.1%）となっている。

回答	回答数
ゆめタウン	82
広島西医療センター	37
病院	21
職場	19
市役所	7
商店	6
大竹駅	4
総合市民会館	4
メープルヒル病院	3
おだ整形外科	3
しまだファミリークリニック	3
古吉眼科	3
その他	34
無回答	22
合計	248



※ その他の内容

回答数2：小方公民館，学校，ゆうあいホーム，広島総合病院，松前内科，旅行

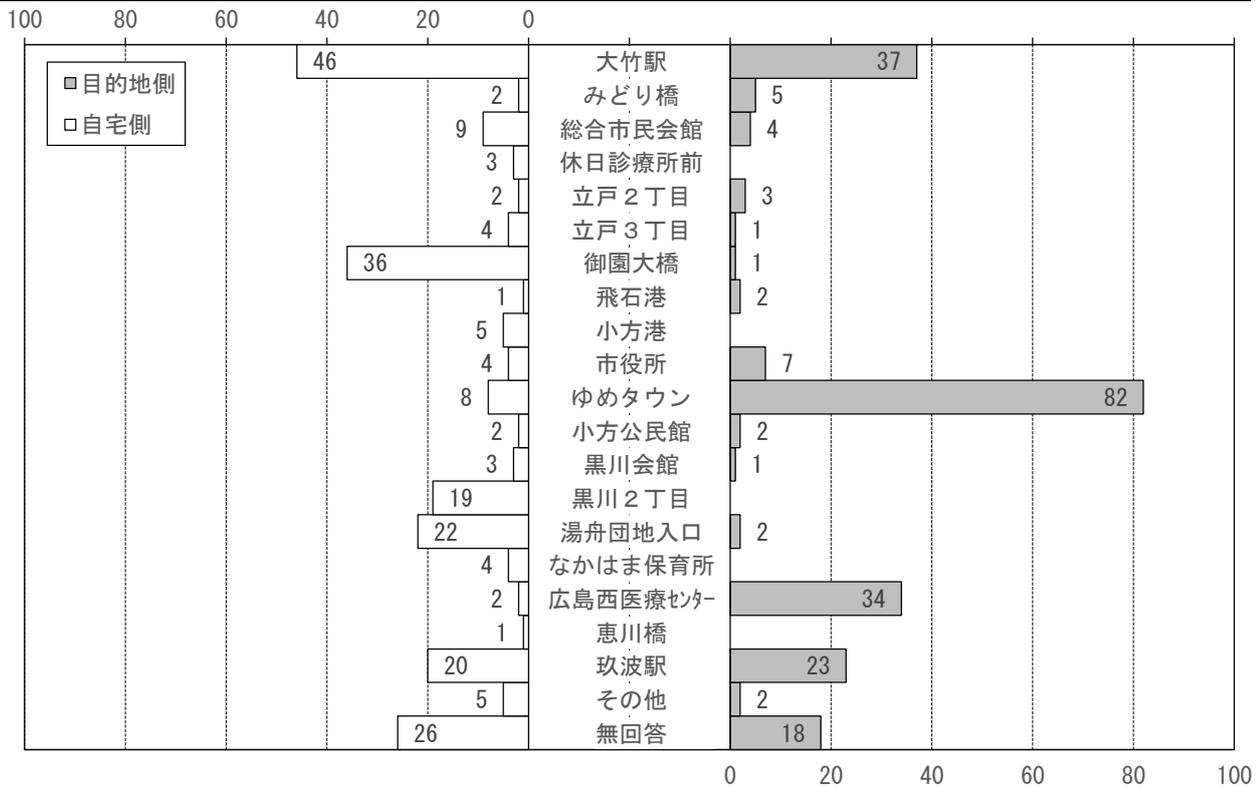
回答数1：飲食店，カーブス，ウオントゥ，フォトカフェ，玖波駅，佐伯中央農協，サントピア，四国銀行，トライアル，博多金龍，三菱レイヨン，有木耳鼻科，岩国医師会病院，大竹中央クリニック，こうろ皮膚科，佐川内科，村井医院，村上クリニック，図書館，廿日市市，湯舟町，アルク

※ アンケートは「1箇所だけ」で実施したが複数箇所を記入している人が多いため、「複数箇所も可」として集計した。

※ 「大竹駅」「玖波駅」と記載されているもののうち、②の質問の回答が「買い物」の場合は「商店」，「通院」の場合は「病院」，「通勤」の場合は「職場」，「通学」の場合は「学校」として集計した。

④ よく利用する乗車区間

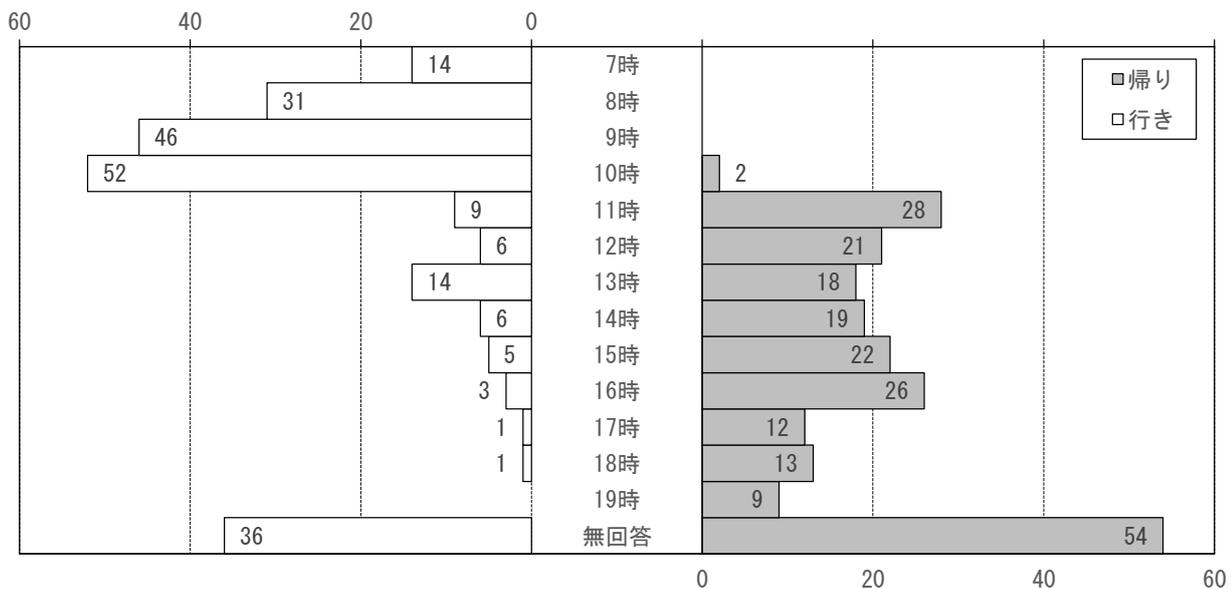
- 自宅側のバス停は「大竹駅」が最も多く、「御園大橋」「湯舟団地入口」と続いている。
- 目的地側のバス停は「ゆめタウン」が最も多く、「大竹駅」「広島西医療センター」と続いている。



※ 「自宅側」「目的地側」のバス停が記入されていないが、他の質問の回答内容からバス停が推定できる場合は、そのバス停を「自宅側」「目的地側」のバス停として集計した。

⑤ よく利用する時間

- 行きは、8時から10時にかけて増加し、11時以降は激減している。
- 帰りは、11時から16時まで一定の利用者がいる。
- 「決まっていない」等の理由による「無回答」が多い（行き16.1%、帰り24.1%）。



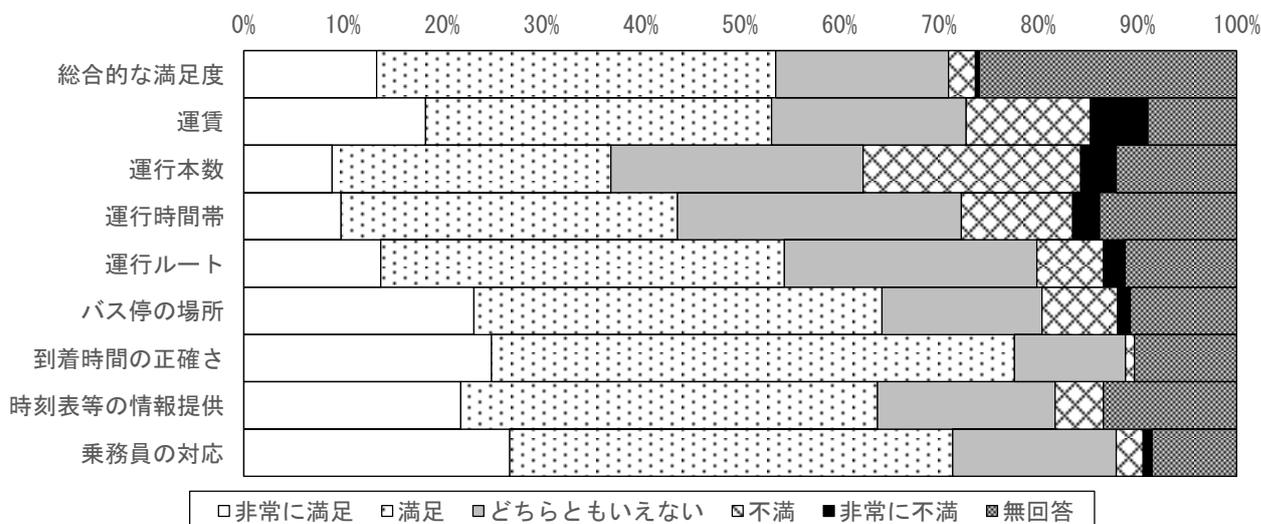
※ 「○～△時」と回答している場合は、早い方の時間（例の場合は○時）で集計した。

質問3 こいこいバスの満足度などについて

① 満足度

- 「総合的な満足度」の平均は「3.86」で、他の8項目の中間となっており、全体の平均（3.73）より高くなっているものの、「非常に満足」と「満足」の割合は平均（57.7%）を下回っている。
- 「非常に満足」が最も多いのは「乗務員の対応」で、最も少ないのは「運行本数」となっている。
- 「非常に不満」が最も多いのは「運賃」で、最も少ないのは「到着時間の正確さ」「時刻表等の情報提供」の「0」となっている。
- 「平均」が最も高いのは「到着時間の正確さ」で、最も低いのは「運行本数」となっている。
- 「非常に満足」と「満足」の割合が最も高いのは「到着時間の正確さ」で、最も低いのは「運行本数」となっている。
- 「不満」と「非常に不満」の割合が最も高いのは「運行本数」で、最も低いのは「到着時間の正確さ」となっている。
- 「総合的な満足度」は、他の項目と比べて「無回答」の割合が高い。

選択肢	回答数									
	総合的な満足度	運賃	運行本数	運行時間帯	運行ルート	バス停の場所	到着時間の正確さ	時刻表等の情報提供	乗務員の対応	平均
5 非常に満足	30	41	20	22	31	52	56	49	60	40.11
4 満足	90	78	63	76	91	92	118	94	100	89.11
3 どちらともいえない	39	44	57	64	57	36	25	40	37	44.33
2 不満	6	28	49	25	15	17	2	11	6	17.67
1 非常に不満	1	13	8	6	5	3	0	0	2	4.22
無回答	58	20	27	31	25	24	23	30	19	28.56
合計	224	224	224	224	224	224	224	224	224	—
平均（無回答除く）	3.86	3.52	3.19	3.43	3.64	3.87	4.13	3.93	4.02	3.73
5と4の割合（%）	53.6	53.1	37.1	43.8	54.5	64.3	77.7	63.8	71.4	57.7
2と1の割合（%）	3.1	18.3	25.4	13.8	8.9	8.9	0.9	4.9	3.6	9.8



② 不満や要望、利用が増えるアイデアなど

重複した意見が複数あったため、ある程度集約した意見を以下に示す。

運行ルート

- 三ツ石町まで運行ルートを延長してほしい。(7)
- 大和橋まで運行ルートを延長してほしい。(3)
- 御園台まで運行ルートを延長してほしい。(3)
- 小方ヶ丘(小方学園)まで運行ルートを延長してほしい。(2)
- 大竹会館(大竹支所)まで運行ルートを延長してほしい。(2)
- 白石まで運行ルートを延長してほしい。(2)
- 大竹駅から油見トンネルを通り、木野から大和橋をまわる。または逆ルートが数本あればよい。
- 運行ルートが長い方がよい。(大和橋まで)
- その他の地区までの運行ルートの延長の要望
「御園台、新陽台」「元町、白石地区」「元町、本町地区」「玖波7丁目、8丁目」

運行便数・運行ダイヤ

- 運行便数を増やしてほしい。(11)
- JRとの乗継ぎ(特にバスの最終便)をよくしてほしい。(5)
- 午後からの運行便は1時間に1本のため、不便である。(3)
- 午後0時～午後3時の時間帯も40分間隔で運行してほしい(増便してほしい)。(3)
- 最終便の時刻が早い。もう1便増便してほしい。(2)
- 土、日、祝日も7時台の便を運行してほしい。(2)
- 朝の早い便を増やしてほしい。
- 早朝便及び全体の便数を増やしてほしい。
- 便数を増やしてほしい。(最終)
- 19:30を最終便にしてほしい。
- 20時台の便を増便してほしい。
- 21:00の便を増便してほしい。
- 最終便を遅くしてほしい。
- JRの終電に合せた便があればよい。
- 朝、夕の時間帯が悪い。朝6時台、夜9時台を運行してほしい。
- 朝6:00、夜20:00の便があればよい。
- 乗りたい時間帯の便数が少ない。(午後6時台、午前8時前後にもう1便あればよい。)
- 元町方面へ2便程度運行してほしい。
- 阿多田フェリーの時間に合せてほしい。

バス停

- セブンイレブン側から御園大橋バス停に行くには、車道を横断しなければならず、横断歩道もない。また、バス待ちや降車後に自動車との距離が近く危険である。(3)
- バス停に椅子、屋根が必要である。(2)
- 御園大橋バス停の位置を示す表示等が必要である。
- 冬は日暮れが早いので御園大橋バス停付近に照明がなく危険である。
- トライアルにバス停を設けてほしい。
- ゆめタウンの海側かトライアル付近にバス停を設けてほしい。
- 白石1丁目付近にバス停を設けてほしい。
- バス停を増やした方がよい。
- バス停を変えてほしい。(市役所は乗降者がいない)

運賃・定期券・回数券・運賃割引

- 運賃を100円にしてほしい。(9)
- 運賃を安くしてほしい。(6)
- 運賃が高い。(5)
- 運賃を距離制にした方がよい。(3)
- 障害手帳所有者の割引制度を設けてほしい。(3)
- 80歳以上は運賃を安くしてほしい。
- 70歳以上の高齢者運賃を検討してほしい。(他市等は殆ど100円)
- 岩国市は100円で運行している。
- 定期券が1か月(1日～末)に不満がある。月の途中から1か月にしてほしい。
- 定期券料金6,000円/月を5,000円/月(4,000円/月程度)にしてほしい。(2)
- 回数券の販売案内が不十分である。
- 乗務員から時々回数券を買う方はいませんかなど声かけしてほしい。
- 駅、ゆめタウンサービスカウンターに回数券等の販売所があればよい。
- こいこいバスから栄ぐるりんバスを利用すると400円かかるので、乗継割引をしてほしい。

バスの車両

- 降りる人が分からないので、バスの窓は明るい方がよい。(2)
- 7月上旬に8時台の便に乗ったが冷房が効き過ぎて気分が悪くなった。温度調整してほしい。
- コイ・こいフェスティバルなどで利用者が多い日は立って乗る人も良いことにしてほしい。
- 座席シートが汚れている。クリーニング等が必要である。
- 車内は禁煙であるが、たまにたばこの臭いがあり気分が悪くなる。

乗務員

- 乗務員の対応がよい(親切である)。(4)
- 乗務員の対応が悪い。(2)
- カーブを曲がる時や進路変更はゆっくり、やさしく運転してほしい。
- 乗務員により車のゆれが大きい。
- 子どもを抱いて乗車したが着席していない内に出発した。
- 速度を出し過ぎ。
- 走ってバスを呼び止めたが無視された。

その他

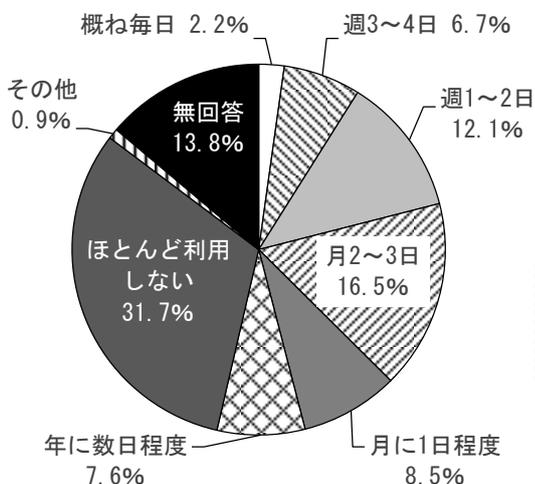
- (雨や暑い日には)バス待機時間に車内で待たせてほしい。(3)
- こいこいバスを知らない人もいるので、PRをしてほしい。(2)
- 市の行事等の開催日は臨時運行するとよい。
- 運休状況が分からない。
- 子どもや高齢者の利用が最優先。
- 廃止になると困る。
- 小方2丁目からゆめタウンで買い物するが大変である。
- ゆめタウン送迎バスと間違えるので、間違えないようにしてほしい。
- 利用者がいないのにバス停でドアを開けるのは遅れの原因になる。
- 到着時間が遅い時がある。
- 子どもや高齢者の作品(絵画、川柳、俳句など)を車内掲示すれば、作者等の利用がある。
- いつも気持ちよく利用している。
- 送り迎えが難しい時は助かっている。
- 元町地区のバスは坂上線ですが便数が少ない。タクシーを利用するのでタクシー代がかさむ。
- 自宅から広島西医療センターに行けない。不便である。

質問4 玖波駅バス停の利用や移転について

① 玖波駅バス停の利用頻度

- 「ほとんど利用しない」が最も多く、「月2～3日」「週1～2日」と続いている。
 ○ 日常的に利用している人（「概ね毎日」「週3～4日」「週1～2日」「月2～3日」の合計）が約38%（84人）となっている。

選択肢	回答数
概ね毎日	5
週3～4日	15
週1～2日	27
月2～3日	37
月に1日程度	19
年に数日程度	17
ほとんど利用しない	71
その他	2
無回答	31
合計	224



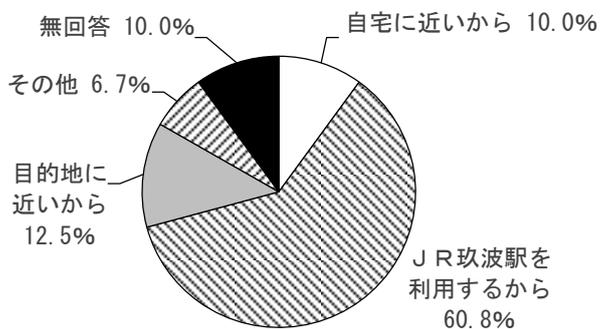
「概ね毎日」～
「年に数日程度」
の内訳

※ その他の内容：使う時は月7, 8回 (1), 利用したことがない (1)

①-2 玖波駅バス停を利用する理由

- 「JR玖波駅を利用するから」が最も多く、「目的地に近いから」「自宅に近いから」と続いている。

選択肢	回答数
自宅に近いから	12
JR玖波駅を利用するから	73
目的地に近いから	15
その他	8
無回答	12
合計	120



※ 目的地の内訳：病院 (4), 広島西医療センター (3), メープルヒル病院 (2), 職場 (1), 無回答 (5)

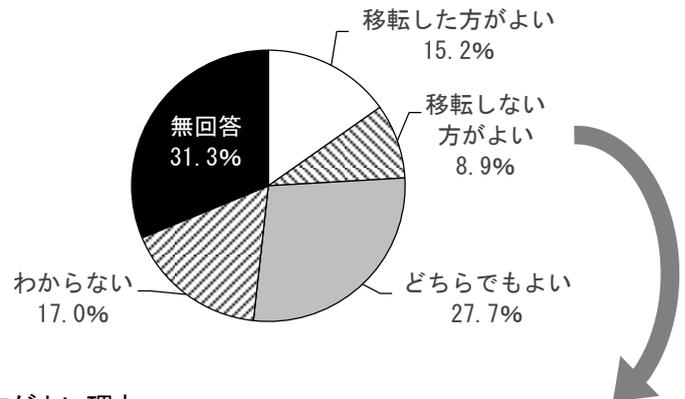
※ その他の内容：栗谷線バスへの乗り換え (3), 大野ハートバスを利用するため (1), こいこいバスに乗るため (1), 広島へ行った時、帰り大竹駅で階段が上れないので、待ち時間が少ない時に利用する (1), 何となく (1), 無回答 (1)

※ アンケートは「1つに○」で実施したが複数に○をしている人がいたため、②の副問の回答状況等から1つに限定して集計した。

② 工事期間中に玖波駅バス停を駅西側に移転することについて

- 「どちらでもよい」が最も多く、「わからない」「駅西側へ移転した方がよい」と続いている。
 ○ 「駅西側へ移転した方がよい」の方が「駅西側へ移転しない方がよい」より14人（70%）多い。

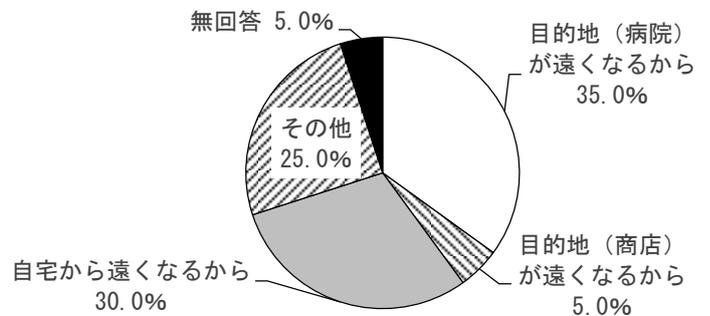
選択肢	回答数
駅西側へ移転した方がよい	34
駅西側へ移転しない方がよい	20
どちらでもよい	62
わからない	38
無回答	70
合計	224



②-2 玖波駅バス停を駅西側へ移転しない方がよい理由

- 「目的地（病院）が遠くなるから」が最も多く、「自宅から遠くなるから」「その他」と続いている。

選択肢	回答数
目的地（病院）が遠くなるから	7
目的地（商店）が遠くなるから	1
自宅から遠くなるから	6
その他	5
無回答	1
合計	20



- ※ その他の内容：駅の改札の出口が東側だから。改札が西側にできた時点で変えればよい。(1)
 大野ハートバスに乗り換えが不便(1)、大野浦に行くため(1)、時間が多くかかるから(1)、下りから上りの移動が難しい(1)

《質問4の①で玖波駅バス停を日常的に利用している人（84人）の回答内容》

- 日常的に利用している人（「概ね毎日」「週3~4日」「週1~2日」「月2~3日」の合計）は「どちらでもよい」が最も多く、「駅西側へ移転した方がよい」「駅西側へ移転しない方がよい」と続いている。
 ○ 「移転した方がよい」の方が「移転しない方がよい」よりわずかに多いが、ほぼ同程度となっている。

選択肢	回答数
駅西側へ移転した方がよい	16
駅西側へ移転しない方がよい	13
どちらでもよい	27
わからない	11
無回答	17
合計	84

病院が遠くなるから	5
自宅から遠くなるから	5
その他	3

- ※ その他の内容：下りから上りの移動が難しい(1)、大野浦に行くため(1)、大野ハートバスに乗り換えが不便(1)

3 アンケート調査実施概要

こいこいバス利用者アンケート調査の実施概要

1 目的

こいこいバスの利用状況（各バス停の乗降状況、利用目的等）を把握するとともに、利用者の意見や運行サービスへの要望等を把握して改善策を検討するため、アンケート調査を実施する。

利用状況を把握するため、また、サービスレベルを維持（改善）するため、次年度以降（年1回程度）も継続してアンケート調査を実施する。

2 実施概要

(1) 調査対象

「こいこいバス」を利用する人（全便を対象）

※パターン2の場合、小学生が調査票を取る可能性があるため、小学生も調査対象とする。

(2) 調査票の配布・回収

配布	【パターン1】 ○調査員がこいこいバスに乗車し、手渡しで配布する。 【パターン2】 ○バス車内に調査票を留め置きし、利用者にとっていただく。（乗務員に声かけ、補充を依頼）
回収	○以下の場所に「回収箱」を設置。 ・バス車内 ・市役所自治振興課窓口 ・各支所（大竹、玖波、木野、栗谷） ※郵送による回収はしない。 ※土日祝日は、自治振興課窓口の回収箱を守衛室に設置する。

(3) 調査票の配布曜日

パターン1（直接配布）：日曜日、月曜日、火曜日

※調査員は各バス停の乗降状況を記録する。（全便を対象）

パターン2（留め置き）：水曜日、木曜日、金曜日、土曜日

(4) 調査票の配布時期

パターン1：7月5日（日）、6日（月）、7日（火）

パターン2：7月8日（水）、9日（木）、10日（金）、11日（土）

(5) 調査票の回収期限

7月26日（日）

(6) その他

- ・市広報7月号でアンケートへの協力依頼記事を掲載
- ・調査の1週間前程度より、バス車内に「予告ポスター」を設置
- ・一週間の調査期間中に複数回こいこいバスを利用する人がいると想定される。アンケート用紙の配付枚数は一人1枚とし、「既に受け取った」という利用者には配付しない。

平成 27 年度 『こいこいバス』利用者アンケート調査

平成 21 年 10 月に誕生した「こいこいバス」は、多くの人に利用され、今では本市の大切な公共交通に成長しました。

この「こいこいバス」が、皆様の生活に役立つ移動手段であり続けるために、バスを利用される方々のご意見をお聞きするアンケート調査を実施いたします。

ご面倒をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



平成 27 年 7 月 大竹市地域公共交通活性化協議会

■アンケートの回収

ご記入が済んだアンケートは、**7月26日（日）**までに、「回収箱」へ返却をお願いします。

※「回収箱」の設置場所は、次のとおりです。

- 「こいこいバス」の車内
- 「大竹市役所自治振興課」の窓口
- 各支所（大竹、玖波、木野、栗谷）



■問い合わせ先

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

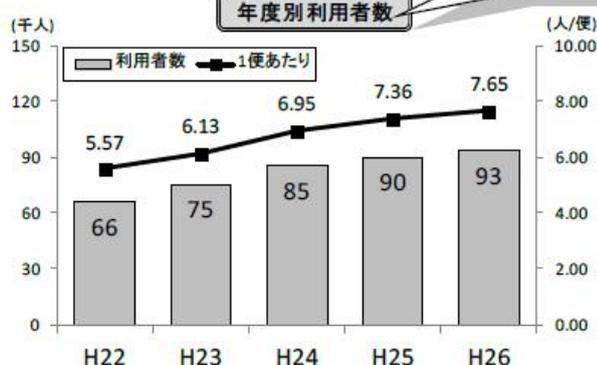
大竹市 市民生活部 自治振興課 【TEL：0827-59-2142】

なお、このアンケートは、上記の目的以外に使用することはありません。

こいこいバスの まめ知識



こいこいバスは、
年間約9万人、
1日約250人の方に
利用されています。



[質問 1] あなたご自身のことについておたずねします

①性別	1. 男性	2. 女性		
②年齢	1. 19歳以下 5. 50歳代	2. 20歳代 6. 60歳代	3. 30歳代 7. 70歳代	4. 40歳代 8. 80歳以上
③ご職業	1. 会社員・公務員 4. 小学生 7. 大学生・専門学校生 10. その他 ()	2. 自営業・自由業 5. 中学生 8. アルバイト・パート	3. 専業主婦 6. 高校生 9. 無職	
④お住まい	※必ず町丁字名までご記入下さい (例えば、小方2丁目、三ツ石町 など) () 市 ()			
⑤運転免許の保有	1. 自動車運転免許	2. 二輪免許	3. 原付免許のみ	4. 持っていない

[質問 2] 普段のこいこいバスのご利用についておたずねします

①あなたは普段、どの程度 こいこいバスを利用しますか。 (1つに○)	1. 概ね毎日 4. 月2～3日 7. その他 ()	2. 週3～4日 5. 月に1日程度	3. 週1～2日 6. 年に数日程度
②こいこいバスを利用するときの 主な目的は何ですか。 (回数が最も多い目的1つに○)	1. 買い物 5. 趣味・娯楽 7. その他 ()	2. 通院 6. 業務	3. 通勤 4. 通学
③こいこいバスを利用して、よく訪れる 行き先(目的地)はどこですか。 (1箇所だけ) ※住所について 「大竹市役所」など、施設名から住所 が分かる場合は、記入不要です。	■施設名 () ■住所 ※分かる範囲で教えて下さい ()		
④こいこいバスを利用する回数が多い 乗車区間はどちらですか。 ※「自宅側」、「目的地側」のバス停名を それぞれ1つご記入ください。	■自宅側のバス停 () ～ () ■目的地側のバス停 ()		
⑤こいこいバスを利用する時間は、 だいたい何時頃が多いですか。 ※「行き」「帰り」の時間を、それぞれ ご記入ください。	■行きの利用時間 1. 午前 () 時頃 2. 午後 () 時頃		■帰りの利用時間 1. 午前 () 時頃 2. 午後 () 時頃

[質問3] こいこいバスの満足度などについておたずねします

①「こいこいバス」の満足度について教えてください。(各項目で、あてはまる番号1つに○)

	非常に満足	満足	どちらとも いえない	不満	非常に不満
●総合的な満足度	5	4	3	2	1
a) 運賃	5	4	3	2	1
b) 運行本数	5	4	3	2	1
c) 運行時間帯	5	4	3	2	1
d) 運行ルート	5	4	3	2	1
e) バス停の場所	5	4	3	2	1
f) 到着時間の正確さ	5	4	3	2	1
g) 時刻表等の情報提供	5	4	3	2	1
h) 乗務員の対応	5	4	3	2	1

②「こいこいバス」を不満に思う内容やご要望、また利用が増えるようなアイデアなどがあれば、具体的にお書きください。

[質問4] 玖波駅バス停の利用や移転についてにおたずねします

①あなたは現在、「玖波駅」バス停をどの程度利用されていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 概ね毎日	2. 週3～4日	3. 週1～2日	4. 月2～3日
5. 月に1日程度	6. 年に数日程度	7. ほとんど利用しない	8. その他 ()

「1」～「6」の方は副問をお答えください

副問 玖波駅バス停を利用する方だけにお聞きします。
このバス停を利用する理由として、最も近いのはどれですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 自宅に近いから	2. JR玖波駅を利用するから
3. 目的地に近いから (その場所は?)	
4. その他 ()	

